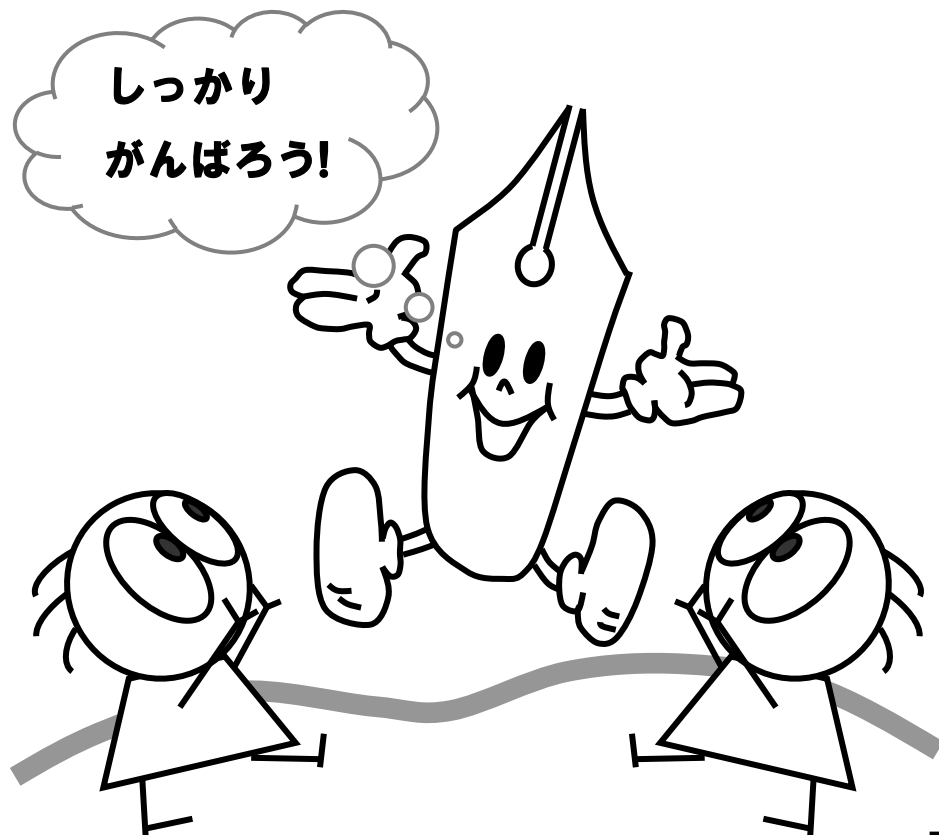


2025年 後期

『学習の進め方』

— 3 年生 —





3年生 国語 後期のアドバイス

①後期学習のポイント

- 読解分野では、前期に学習した物語文と説明文をさらに深く読み取れるような力を身につけることが大切です。物語文では、できごとと気持ちの関係を正確におさえましょう。また、説明文では、話題と結論をおさえて読むようにしましょう。
- 後期は詩を新たに学習します。ここでは詩の知識を身につけることよりも、詩を楽しみながら読むことが大切です。日記文や観察文にもふれ、いろいろな文章の読み方も学習していきます。
- 漢字は、前期のうちに3年生で学習するものはすべて終わっています。したがって、授業では取り上げませんが、『漢字マスター練習帳』をしっかりとやりましょう。
- 後期からは毎回語句分野の学習があります。語句分野では、接続語・指示語など、さまざまな言葉について学習していきます。それぞれの言葉のはたらきをしっかりとおさえるようにしましょう。また、前期に学習した主語・述語・修飾語を確認しながら、簡単な文図を作れるようになります。

②本科テキストの考え方・使い方について

- 予習はまったく必要ありません。授業では先生の説明をしっかりと聞くことが大切です。先生が黒板に書いたことから、テキストの〈大切なことがらを書いておきましょう〉にうつすようにしてもよいでしょう。
- はじめに、その回で学ぶことを確認してもらいます。その後で文章を音読してもらいます。文章の内容をまとめた後に、確認のために問題演習に入ります。先生の説明をよく聞いて、なぜその答えになるのかをしっかりと考えることが大切です。

このように、しっかりと「聞く」「書く」「考える」習慣を身につけていきましょう。

先生の話をよく聞いて、一問一問ていねいに取り組んでいくことが大切です。

※発展問題は授業ではあつかいません。宿題でもありません。演習用の教材で、余裕があれば自主的に取り組むための読解教材です。無理して取り組む必要はありません。



③家庭学習の方法（宿題の効果的なこなし方）

- まず、授業の復習をすることです。テキストの文章を音読して、間違えた問題を解き直しておきましょう。
- その後、宿題用のテキスト『栄冠への道』にとりかかりましょう。栄冠への道は授業用のテキストにそって作られています。答え合わせは保護者の方をお願いします。
- 漢字マスターは、『漢字マスター練習帳』を使ってしっかり練習してください。『栄冠への道』・『漢字マスター練習帳』ともに、授業と同じ回が宿題です。宿題にかける時間は 45 分ぐらいを一応の目安にしてください。

④国語の苦手な皆さんへ ―国語の先生から―

- 漢字・語句はくり返し練習しましょう。特に、漢字は実際にノートなどに書いて練習することが大切です。
- テキストの文章を何度も読んでみましょう。物語文や詩を読むときは、書かれていることを頭の中に映像として思い浮かべながら読んでみるとよいでしょう。説明文を読むときは段落ごとに何が書かれているのかをおさえながら読んでみましょう。また、問題をもう一度解いてみるのも効果があります。前に間違えたところは特に注意しましょう。

－ メ モ －



3年生 算数 後期のアドバイス

①後期学習のポイント

- 3年生の後期の学習で大切な単元は、第22回・第23回で学習する「割り算」、第25回で学習する「角度」、第31回で学習する「数列」などです。第23回では2桁で割る筆算までを学習し、マスターで継続して学習します。
- それらができるようになったら、次に「言葉と式を結びつける」ことを心がけて問題に取り組み、文章題や応用問題を解く力をつけていくようにしましょう。

3年生の段階としては、たとえ算数が苦手でうまくできなかったとしても、積極的に授業に参加することが一番大切です。今できなくても学年が進んでもう一度習ったときに、授業で体験した記憶が残っているだけでも大いに有利になります。リードコースで楽しく学習を進めていってください。

②本科テキストの考え方・使い方について

- まず「やってみよう」の導入部分を先生が説明⇒その後の類題を演習⇒さらに先生が答え合わせと解説をして進めていきます。4年生からの「自ら知識を獲得する」学習を進めていくための準備として、まずは、「先生の説明をしっかりと聞き、大切なところをテキストに正しく書き込む」作業がしっかりとできるように指導していきます。この作業が、学年が上がってからノートを取る際に、書き写すことに追われるのではなく、説明をしっかりと聞きながらノートを取れるようになることにつながります。教えてもらった内容をしっかりと理解し、問題演習で確認する学習姿勢を身につけていきましょう。
- 「できるかな？」は各回2～3ページついていますが、クラスや回の内容によって進度が異なり、全く扱わない場合もあります。この部分はその回で習ったことをもとに自分で問題を解き、その後先生が解説する形が多くなります。先生の説明をしっかりと聞き、もし考え方が違う場合は先生の解説を書き写すようにしましょう。
- 「できたらすごいぞ！」は、特に進度の速いクラスや回でない限り、授業では扱いません。この部分は無理にやる必要はありません。



③家庭学習の方法(宿題の効果的なこなし方)

宿題は「栄冠への道」、「マスター」の2つです。

- 「栄冠への道」は、原則として授業中に扱った問題の類題が指示されますので、まずはその問題が**確実にできるようにすることが大切です**。また、式や考え方もできるだけ**しっかりと書きこむ**ようにしましょう。もし、わからない問題があれば本科テキストをよく読んで、授業を思い出し、ふり返りをしましょう。それができてから、もう一度その問題に挑戦してみましょう。
- 「マスター」は、必要に応じて**筆算も書きこみ**、まちがえた場合はどこでまちがえたのかを**チェック**しておきましょう。できるようになった問題はすぐにやり直しましょう。

④算数の苦手な皆さんへ ―算数の先生から―

- テキストで大切なところは各回の「やってみよう」に集めてありますから、「やってみよう」が**しっかりできることが大切です**。「できるかな？」以降の内容は今の段階ではできなくても、学年が上がれば同じような内容を習いますから、心配はいりません。
- テキストの問題を解き終わった後で、**栄冠への道の左ページやおさらいで「やってみよう」の内容を確認して、できるようにしておけば、3年生の学習としては十分です**。まちがえた問題を「次にやったらできる」ように、**確実にやり直しを進めておくことも大切です**。

－ メ モ ー
